

AIとの付き合い方

宇都宮で研究者 黒川氏講演



発想力と意思決定力必要

本県出身の大学生らを支援する飯塚毅育英会は29日、宇都宮市内のホテルで

育英講演会を開いた。感性リサーチ代表取締役や下野新聞社客員論説委員を務める人工知能(AI)研究者の黒川伊保子氏が「AIとの付き合い方」と題して講演し、発想力と意思決定力の必要性を強調した。

同会奨学生ら約280人が参加。黒川氏はAIについて「何でも知っているし、答えてくれる優秀なパートナー」とした一方、「利用

奨学生らにAIとの付き合い方について講演する黒川氏
29日午後、宇都宮市本町

者の投入した大量の言葉の関係図をたどって文章を紡ぐだけ。現実との乖離もあり得るので、うのみにしてはいけない」と注意を促した。

AIを正しく扱うための能力については「何を問うか」という発想力と、回答に書いてあることをどう判断するかという意思決定力が必要。これこそが知性だ」と解説した。

それらを得るために学校教育の必要性を訴え、「教科ごとに得られる力のタイプは異なる。全てを手になくてもいい。勉強は自分に必要なアイテムを見極めるためにする」と話し、奨学生らに学ぶ意義を説いた。

(須藤健人)